

## 4.8 構造物の影響

### 4.8.1 日照障害

環境影響評価の対象は、建築物等の存在による日照障害の影響とする。

#### (1) 現況調査

##### ① 調査結果

##### a. 日照障害の状況

計画地周辺における日影の影響に特に配慮すべき施設等は、表 4.8.1-1 に、その分布状況は図 4.8.1-1 に示すとおりである。

計画地周辺の福祉施設は北側約 100m に有料老人ホームぱんだが、教育施設は北西側約 300m に川崎市立臨港中学校が存在している。

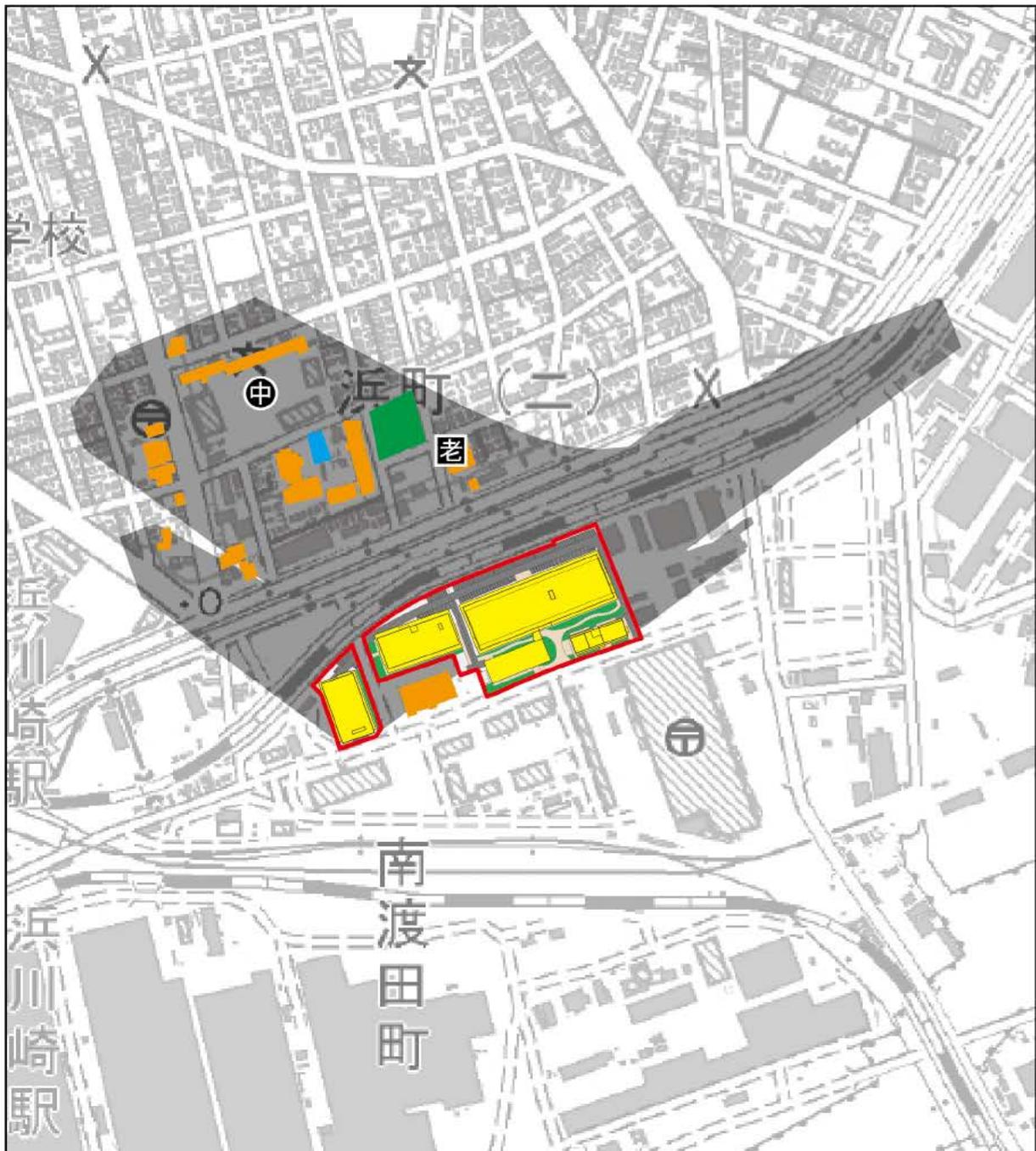
また、公園は浜町第 3 公園、浜町なかよし公園が存在している。

表 4.8.1-1 計画地周辺における日影の影響に特に配慮すべき施設等

区分	施設名称	施設住所
中学校	川崎市立臨港中学校	川崎区浜町 2-11-22
有料老人ホーム	ぱんだ	川崎区浜町 2-19-15
公園	浜町第 3 公園	川崎区浜町 2-16-1
	浜町なかよし公園	川崎区浜町 2-13

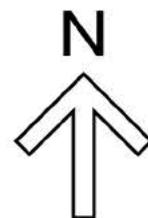
出典：「神奈川県公立学校名簿」（令和 6 年 1 月閲覧、神奈川県 HP）

「高齢者施設のご案内」（令和 6 年 1 月閲覧、川崎市 HP）

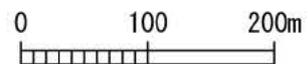


凡例

- 計画地
- 日影の影響を受けると想定される範囲
- 高層建築物 (4階以上)
- 浜町第3公園
- 浜町なかよし公園
- ⊕ 川崎市立臨港中学校
- ⊞ 有料老人ホーム ぱんだ



1:6,000



注：本図は、国土地理院電子地形図 25000 を用いて作成したものである。

図 4.8.1-1 日影の影響に特に配慮すべき施設、既存建築物の状況

## (2) 予測・評価

本事業の実施に伴い、計画建築物により日照障害の影響が考えられるため、その影響の程度について予測及び評価を行う。

### ① 予測

#### a. 予測結果

##### (a) 計画建築物による冬至日における日影の範囲、日影となる時刻及び時間数等の日影の状況の変化の程度

計画建築物による冬至日における平均地盤面での時刻別日影図は図 4.8.1-2 に、等時間日影図は図 4.8.1-3 に、日影の範囲に含まれる建築物棟数は表 4.8.1-2 に示すとおりである。

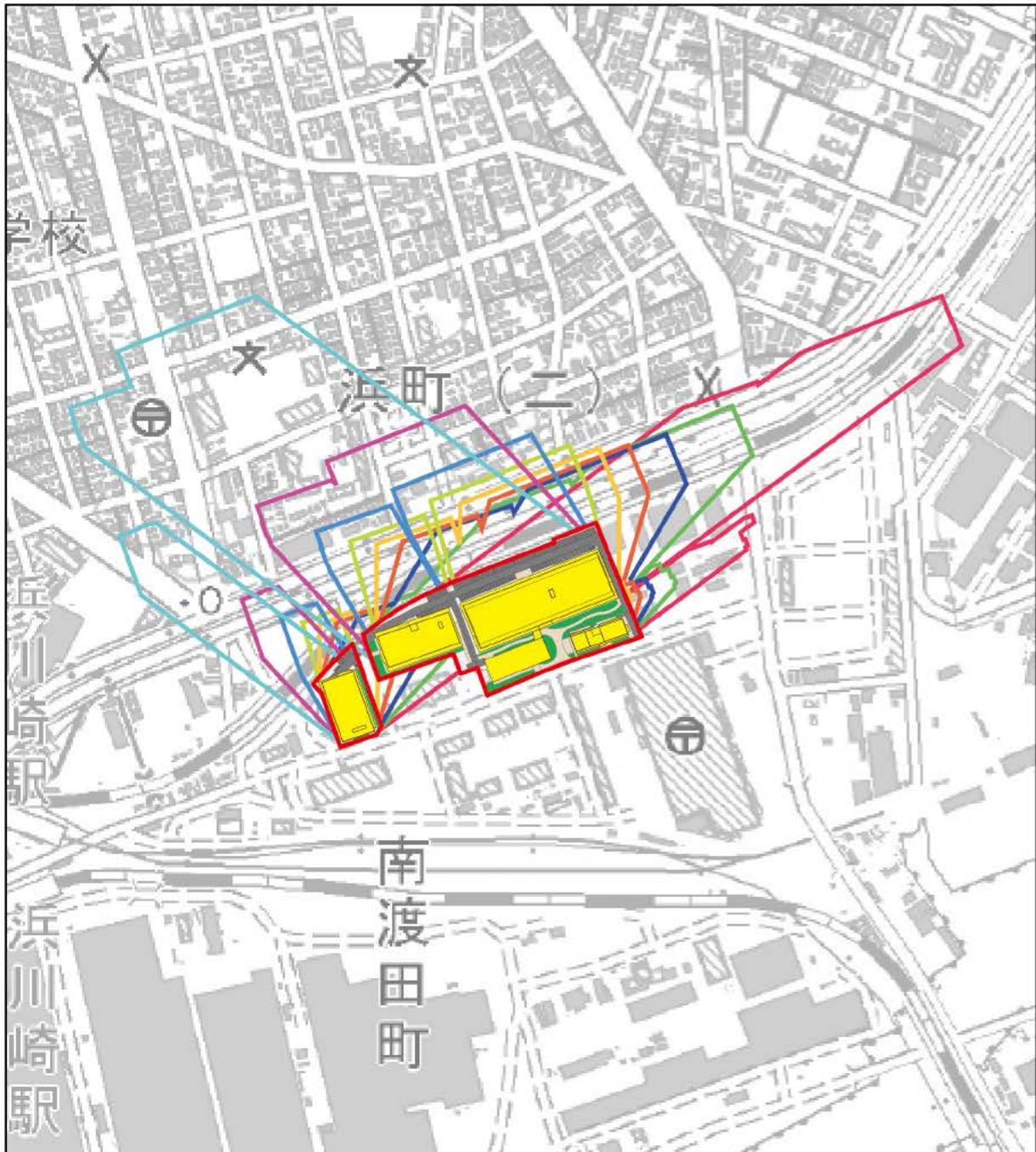
冬至日（平均地盤面±0m）において日影の範囲に含まれる既存建築物は表 4.8.1-2 に示すとおり 313 棟であり、その内訳は、日影時間 1 時間未満が 242 棟、1 時間以上 2 時間未満が 39 棟、2 時間以上 3 時間未満が 27 棟、3 時間以上 4 時間未満が 5 棟と予測する。そのうち、日照障害の影響に特に配慮すべき施設等の棟数は、1 時間未満が 2 棟、1 時間以上 2 時間未満が 1 棟、2 時間以上 3 時間未満が 1 棟と予測する。

関係法令に基づく日影規制の測定水平面における日影（冬至日の平均地盤面+4m）は、図 4.8.1-3 に示すとおりであり、日影規制が定められている区域に及ぶことはないと予測する。

表 4.8.1-2 日影の範囲に含まれる既存建築物

日影時間	日影の範囲に含まれる建築物棟数	
	建築物棟数	配慮すべき施設等の棟数
1 時間未満	242	2
1 時間以上 2 時間未満	39	1
2 時間以上 3 時間未満	27	1
3 時間以上 4 時間未満	5	0
4 時間以上 5 時間未満	0	0
合計	313	4

注：冬至日、真太陽時、平均地盤面±0m

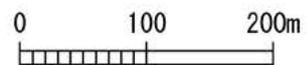


凡例

- 計画地
  - 08:00 の日影線
  - 09:00 の日影線
  - 10:00 の日影線
  - 11:00 の日影線
  - 12:00 の日影線
  - 13:00 の日影線
  - 14:00 の日影線
  - 15:00 の日影線
  - 16:00 の日影線
- ※平均地盤面からの高さ±0m



1:6,000



注：本図は、国土地理院電子地形図 25000 を用いて作成したものである。

図 4.8.1-1 時刻別日影図

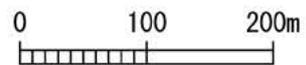


凡例

- 計画地
  - 1 時間未満
  - 1 時間以上 2 時間未満
  - 2 時間以上 3 時間未満
  - 3 時間以上 4 時間未満
  - 4 時間以上 5 時間未満
  - 5 時間以上 6 時間未満
  - 6 時間以上 7 時間未満
  - 7 時間以上 8 時間未満
  - 8 時間以上
- ※平均地盤面からの高さ±0m

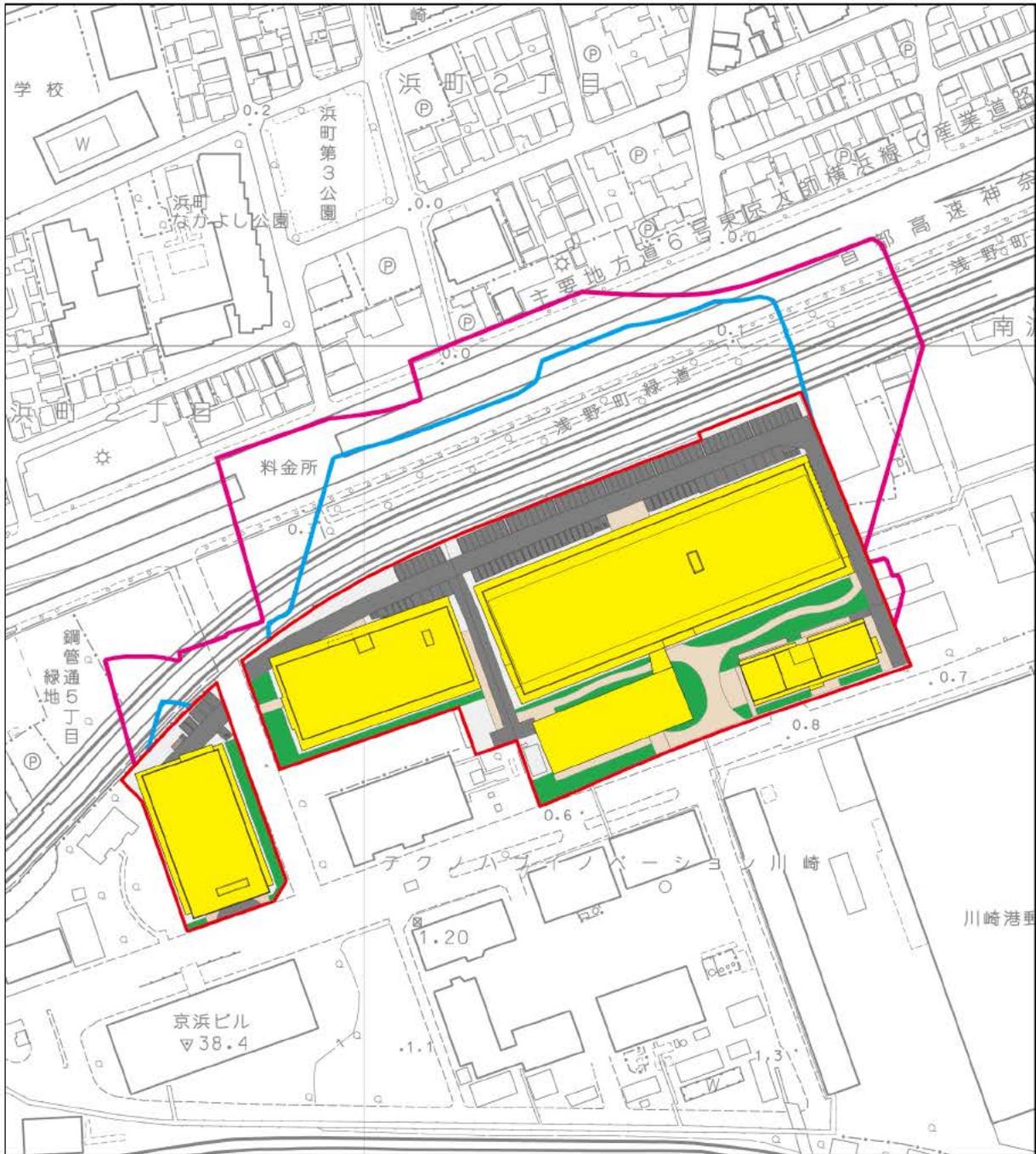


1:6,000



注：本図は、国土地理院電子地形図 25000 を用いて作成したものである。

図 4.8.1-2 等時間日影図

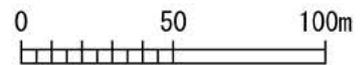


凡例

- 計画地
  - 等時間日影線 (3時間)
  - 等時間日影線 (5時間)
- ※平均地盤面からの高さ+4m



1:2,500



注: 本図は、川崎市地形図 1/2,500 (平成 31 年度) を用いて作成したものである。

図 4.8.1-3 関係法令に基づく等時間日影図

(b) 計画建築物による日照障害の影響に特に配慮すべき施設等における日影となる時刻及び時間数等の日影の状況の変化の程度

川崎市立臨港中学校の日影時間は朝方の1時間未満であり日影の影響はほとんどないと予測する。有料老人ホームぱんだの日影時間は2時間以上3時間未満となるが、南側には建築物及び首都高速神奈川1号横羽線があり、計画建築物の日影の影響はほとんどないと予測する。浜町なかよし公園の日影時間は朝方の1時間未満であること、また周囲を高層建築物に囲まれていることから日影の影響はほとんどないと予測する。

浜町第3公園の日影時間を表4.8.1-3及び図4.8.1-4に示す。供用後の日影時間は現況と同様であり、計画建築物の日影の影響はないと予測する。

表 4.8.1-3 浜町第3公園における日影時間

調査地点	調査対象時期	時刻（真太陽時）									日影時間	増加時間		
		8	9	10	11	12	13	14	15					
浜町第3公園	夏至日	現況											約0分	—
		供用後											約0分	約0分
	春秋分	現況											約20分	—
		供用後											約20分	約0分
	冬至日	現況	■	■									約110分	—
		供用後	■	■									約110分	約0分

注：1. 植栽等による日影については、日影時間に含まない。

注：2. ■：現況の日影時間、■：計画建築物による日影時間

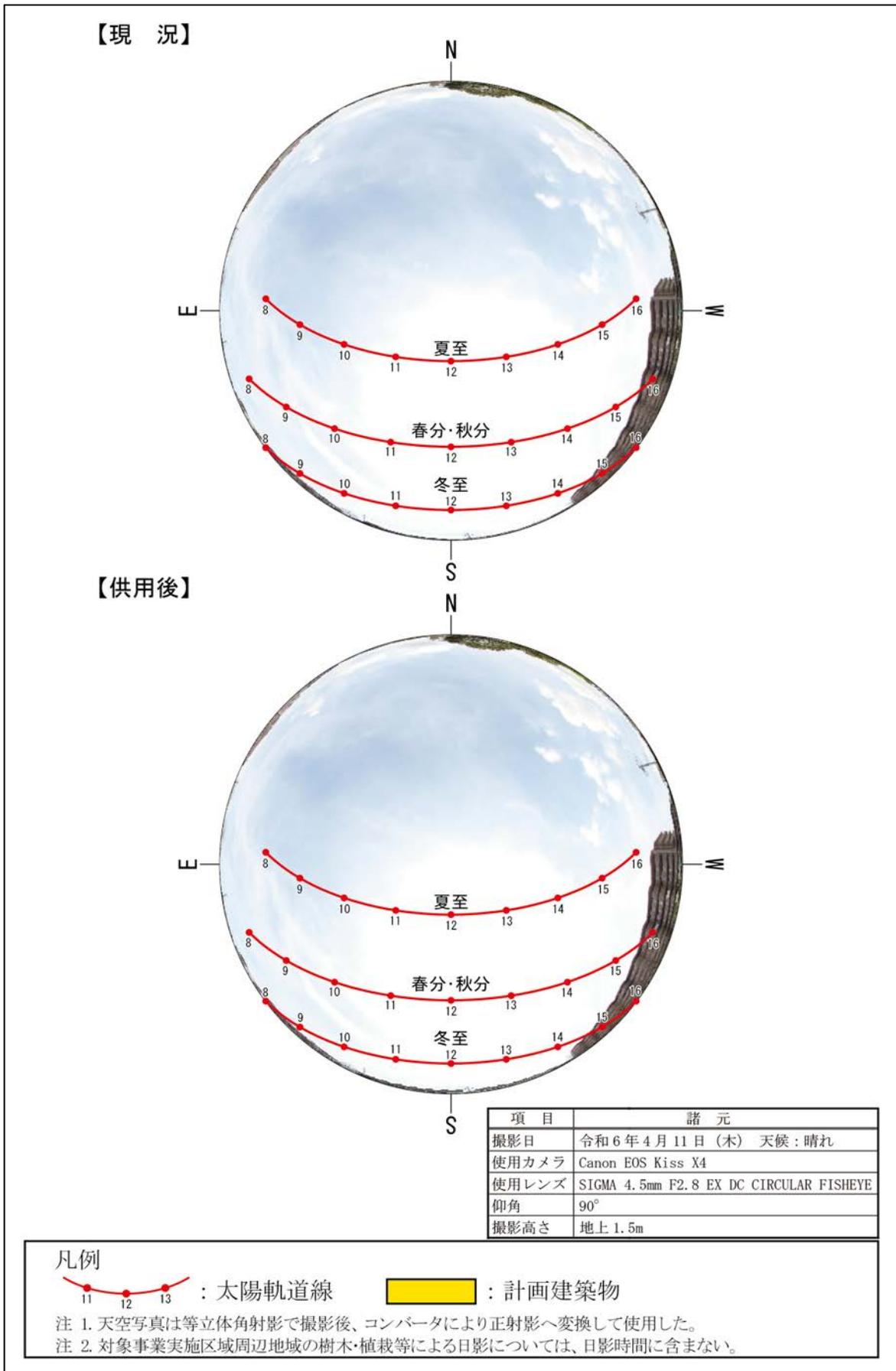


図 4. 8. 1-4 浜町第3公園における日影時間

## ② 評価

冬至日(平均地盤面±0m)において日影の範囲に含まれる既存建築物は313棟であり、その内訳は、日影時間1時間未満が242棟、1時間以上2時間未満が39棟、2時間以上3時間未満が27棟、3時間以上4時間未満が5棟と予測した。そのうち、日照障害の影響に特に配慮すべき施設等の棟数は、1時間未満が2棟、1時間以上2時間未満が1棟、2時間以上3時間未満が1棟と予測した。

関係法令に基づく日影規制の測定水平面における日影(冬至日の平均地盤面+4m)は、日影規制が定められている区域に及ぶことはないと予測した。

川崎市立臨港中学校の日影時間は朝方の1時間未満であり日影の影響はほとんどないと予測した。有料老人ホームぱんだの日影時間は2時間以上3時間未満となるが、南側には建築物及び首都高速神奈川1号横羽線があり、計画建築物の日影の影響はほとんどないと予測した。浜町なかよし公園の日影時間は朝方の1時間未満であること、また周囲を高層建築物に囲まれていることから日影の影響はほとんどないと予測した。

浜町第3公園の供用後の日影時間は現況と同様であり、計画建築物の日影の影響はないと予測した。

本事業の実施においては、計画建築物による日影が近隣住宅の住環境に及ぼす影響の低減を図るために、日影への影響に配慮し、可能な限り建築物を計画地の南側へ配置する環境保全のための措置を講じる。

以上のことから、本事業の実施に伴う計画建築物の日影は、計画地周辺の住環境に著しい影響を与えないと評価する。

## 4.8.2 テレビ受信障害

環境影響評価の対象は、建築物等の存在によるテレビ受信障害への影響とする。

### (1) 現況調査

#### ① 調査結果

##### a. テレビ電波（地上波）の受信状況

調査地点におけるテレビ受信障害調査によるテレビ電波の画像評価は表 4.8.2-1、品質評価は表 4.8.2-2 に示すとおりである。

画像評価については、東京スカイツリー（広域局・県域局）及び横浜局（県域局）を対象とした各調査地点における各放送局の画像評価は、すべての地点において○（正常に受信）であった。

品質評価については、東京スカイツリー（広域局・県域局）を対象とした各調査地点における各放送局の品質評価は、A（きわめて良好）からB（良好）であった。

横浜局（県域局）の品質評価は、すべての地点においてA（きわめて良好）であった。

調査地点におけるケーブルテレビ加入者宅の設置範囲は、図 4.8.2-2 に示したとおりである。

表 4.8.2-1 テレビ電波（地上波）の受信状況（画像評価）

送信局	局名	画像評価（地点数）			端子電圧 (dB)	
		○	△	×		
東京スカイツリー	広域局	NHK 総合	7	0	0	59.0～74.9
		NHK 教育	7	0	0	62.0～76.2
		日本テレビ	7	0	0	61.8～77.5
		TBS	7	0	0	58.2～75.0
		フジテレビ	7	0	0	56.9～73.2
		テレビ朝日	7	0	0	59.3～74.7
		テレビ東京	7	0	0	59.7～75.7
	県域局	MX テレビ	7	0	0	42.5～59.2
横浜局	県域局	テレビ神奈川	6	0	0	61.0～67.2

注：画像評価の基準は、以下に示すとおりである。

○：正常に受信 △：ブロックノイズや画面フリーズあり ×：受信不能

表 4.8.2-2 テレビ電波（地上波）の受信状況（品質評価）

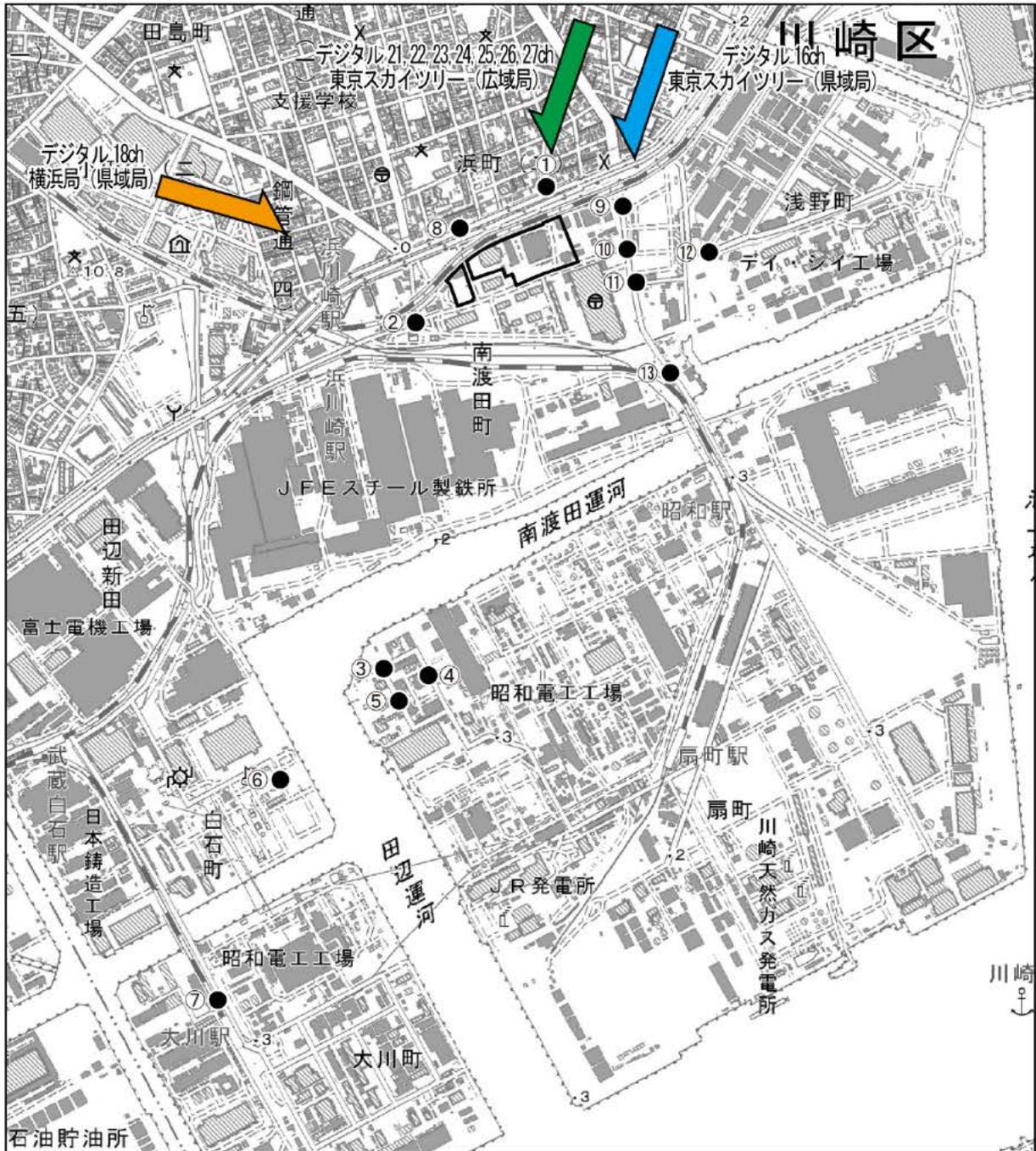
送信局	局名	品質評価（地点数）					
		A	B	C	D	E	
東京スカイツリー	広域局	NHK 総合	7	0	0	0	0
		NHK 教育	7	0	0	0	0
		日本テレビ	7	0	0	0	0
		TBS	6	1	0	0	0
		フジテレビ	6	1	0	0	0
		テレビ朝日	7	0	0	0	0
		テレビ東京	6	1	0	0	0
	県域局	MX テレビ	5	2	0	0	0
横浜局	県域局	テレビ神奈川	6	0	0	0	0

注：品質評価の基準は、以下に示すとおりである。

A：きわめて良好（画像評価○で、 $BER \leq 1E-8$ ）、B：良好（画像評価○で、 $1E-8 < BER < 1E-5$ ）

C：おおむね良好（画像評価○で、 $1E-5 \leq BER \leq 2E-4$ ）

D：不良（画像評価○ではあるが、 $BER > 2E-4$ 、または画像評価△）、E：受信不能（画像評価×）



<b>凡例</b>		
	計画地 テレビ電波の到来方向 ●①~⑬ 路上調査地点	
<small>注：本図は、国土地理院電子地形図 25000 を用いて作成したものである。</small>		1:15,000 

図 4.8.2-1 テレビ受信状況調査地点図

b. テレビ電波の送信の状況

計画地周辺で受信されるテレビ電波のチャンネル、局名、周波数、送信場所、送信高等の送信状況は、表 4. 8. 2-3(1)～(2)に示すとおりである。

表 4. 8. 2-3(1) テレビ電波送信状況（地上デジタル放送）

送信局	ch	局名	周波数 (MHz)	送信場所	送信出力 (kW)	送信高 (海拔m)	
東京スカイツリー	広域局	27	NHK 総合	554～560	東京スカイツリー (東京都墨田区 押上)	614.0	
		26	NHK 教育	548～554		614.0	
		25	日本テレビ	542～548		604.0	
		22	TBS	524～530		584.0	
		21	フジテレビ	518～524		604.0	
		24	テレビ朝日	536～542		594.0	
	23	テレビ東京	530～536	594.0			
広域局	16	東京 MX	488～494	3	566.0		
横浜局	県域局	18	テレビ神奈川	500～506	神奈川県横浜親局 (神奈川県横浜市 鶴見区三ツ池公園)	1	190.5

出典：「デジタル中継局開局情報」（総務省ホームページ）

「テレビ放送用電波の周波数一覧」（令和 6 年 4 月閲覧、一般社団法人映像情報メディア学会 HP）

「全国デジタルテレビジョン・FM・ラジオ放送局一覧」（2010 年、(株)NHK アイテック）

表 4. 8. 2-3(2) テレビ電波送信状況（衛星放送）

区分	衛星名	チャンネル	周波数 (GHz)	軌道位置	送信出力 (W)
BS 放送	BSAT	BS1～23	11.7～12.1	東経 110 度	120
CS 放送	JCSAT-110A	ND2～24	12.2～12.7	東経 110 度	120
	JCSAT-3A	JD2～16	12.5～12.7	東経 128 度	127
	JCSAT-4B	JD5～16	12.5～12.7	東経 124 度	150

注：各衛星の主な放送サービスは、以下のとおり。

BSAT：BS デジタル放送局 JCSAT-110A：スカパー！

JCSAT-3A、JCSAT-4B：スカパー！プレミアムサービス

出典：「衛星放送の現状（令和 5 年度版）」

（令和 5 年 4 月、総務省情報流通行政局衛星・地域放送課）

「テレビ放送用電波の周波数一覧」（令和 6 年 4 月閲覧、一般社団法人映像情報メディア学会 HP）

## (2) 予測・評価

本事業の実施に伴い、計画建築物によりテレビ受信障害の影響が考えられるため、予測及び評価を行う。

### ① 予測

#### a. 予測結果

計画建築物によるテレビ電波（地上デジタル放送、衛星放送）の遮へい障害予測範囲は表 4.8.2-4(1)～(2)及び図 4.8.2-2(1)～(2)、地上デジタル放送（広域局及び県域局）の遮へい障害予測範囲内の建築物数は表 4.8.2-5(1)に、衛星放送の遮へい障害予測範囲内の建築物数は表 4.8.2-5(2)に示すとおりである。

地上デジタル放送では、東京スカイツリーの広域局については、南南西方向（最大距離約 650m、最大幅約 270m）に遮へい障害が発生し、遮へい障害予測範囲内の建築物は 54 棟であり、ケーブルテレビ等に未加入で個別に受信を行っている 2 棟については、遮へい障害が生じる可能性があるとして予測する。

東京スカイツリーの県域局については、南南西方向（最大距離約 1,850m、最大幅約 270m）に遮へい障害が発生し、遮へい障害予測範囲内の建築物は 199 棟であり、ケーブルテレビ等に未加入で個別に受信を行っている 5 棟については、遮へい障害が生じる可能性があるとして予測する。

横浜局については、東南東方向（最大距離約 480m、最大幅約 180m）に遮へい障害が発生し、遮へい障害予測範囲内の建築物等 62 棟であり、そのうち 3 棟がケーブルテレビ等に加え、ケーブルテレビ等に未加入で個別に受信を行っている 2 棟については、遮へい障害が生じる可能性があるとして予測する。

地上デジタル放送の反射障害については、地上デジタル放送の伝送方式が持つ特性等から、地域的な反射障害としてはほとんど生じないものと予測する。

衛星放送では、BS 放送及び CS 放送（JCSAT-110A）については東北東方向（最大距離約 60m、最大幅 230m）に遮へい障害が発生する。

CS 放送（JCSAT-3A 及び JCSAT-4B）については北東方向（最大距離約 30m、最大幅 230m）に遮へい障害が発生し、遮へい障害予測範囲内の建築物は 2 棟あるが、南渡田地区北地区の基盤整備により、現況の建築物は撤去される計画である。

表 4.8.2-4(1) テレビ電波の受信障害予測範囲（地上デジタル放送）

送信局		受信障害予測範囲 <sup>※1</sup>		
		主な方向	最大距離 <sup>※2</sup>	最大幅 <sup>※3</sup>
東京スカイツリー	広域局	南南西	約 650m	約 270m
	県域局	南南西	約 1,850m	約 270m
横浜局	県域局	東南東	約 480m	約 180m

注：※1：図 4.8.2-4(1)の遮へい範囲

※2：電波到来方向からみて敷地境界から最大となる距離

※3：電波到来方向からみて最大となる幅（計画地外）

表 4.8.2-4(2) テレビ電波の受信障害予測範囲（衛星放送）

区分	衛星名	チャンネル	受信障害予測範囲 <sup>※1</sup>		
			主な方向	最大距離 <sup>※2</sup>	最大幅 <sup>※3</sup>
BS 放送	BSAT	BS1～23	東北東	約 60m	約 230m
CS 放送	JCSAT-110A	ND2～24	東北東	約 60m	約 230m
	JCSAT-3A	JD2～16	北東	約 30m	約 230m
	JCSAT-4B	JD5～16	北東	約 30m	約 230m

注：※1：図 4.8.2-4(2)の遮へい範囲

※2：電波到来方向からみて敷地境界から最大となる距離

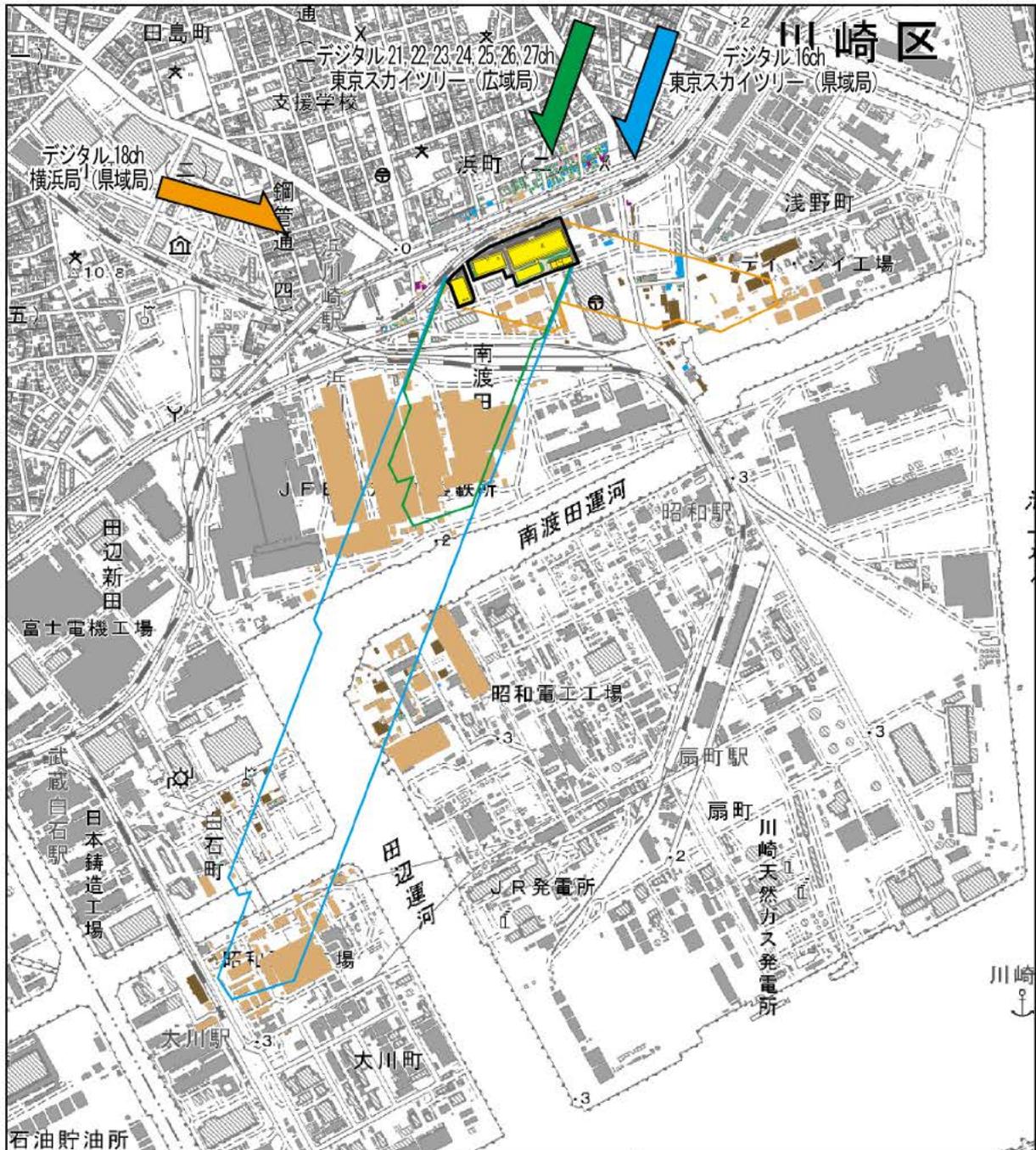
※3：電波到来方向からみて最大となる幅（計画地外）

表 4.8.2-5(1) 遮へい障害予測範囲内の建築物数（地上デジタル放送）

区分		東京スカイツリー		横浜局 (県域局)
		広域局	県域局	
遮へい障害予測範囲内の建築物		54 棟	199 棟	62 棟
対策有	ケーブルテレビ等加入建築物	0 棟	0 棟	3 棟
	共同受信施設による受信建築物	0 棟	0 棟	0 棟
対策無	個別に受信を行っている建築物	2 棟	5 棟	2 棟
受信形態不明の建築物		50 棟	179 棟	38 棟
受信設備無し of 建築物		2 棟	15 棟	19 棟

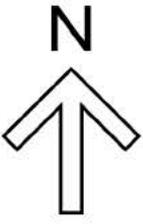
表 4.8.2-5(2) 遮へい障害予測範囲内の建築物数（衛星放送）

区分		BS 放送 (BSAT) 及び CS 放送 (JCSAT-110A)	CS 放送 (JCSAT-3A)	CS 放送 (JCSAT-4B)
		遮へい障害予測範囲内の建築物		0 棟
対策有	ケーブルテレビ等加入建築物	—	0 棟	0 棟
	共同受信施設による受信建築物	—	0 棟	0 棟
対策無	個別に受信を行っている建築物	—	0 棟	0 棟
受信形態不明の建築物		—	2 棟	2 棟
受信設備無し of 建築物		—	0 棟	0 棟



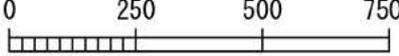
**凡例**

	計画地		ケーブルテレビ加入者
	テレビ電波の到来方向		共同受信施設加入者
<b>遮へい障害予測範囲</b>			光ケーブル加入者
	東京スカイツリー（広域局）		受信設備なし
	東京スカイツリー（県域局）		受信形態不明
	横浜局（県域局）		
<b>アンテナ設置位置</b>			
	東京スカイツリー方面		
	横浜局方面		



N

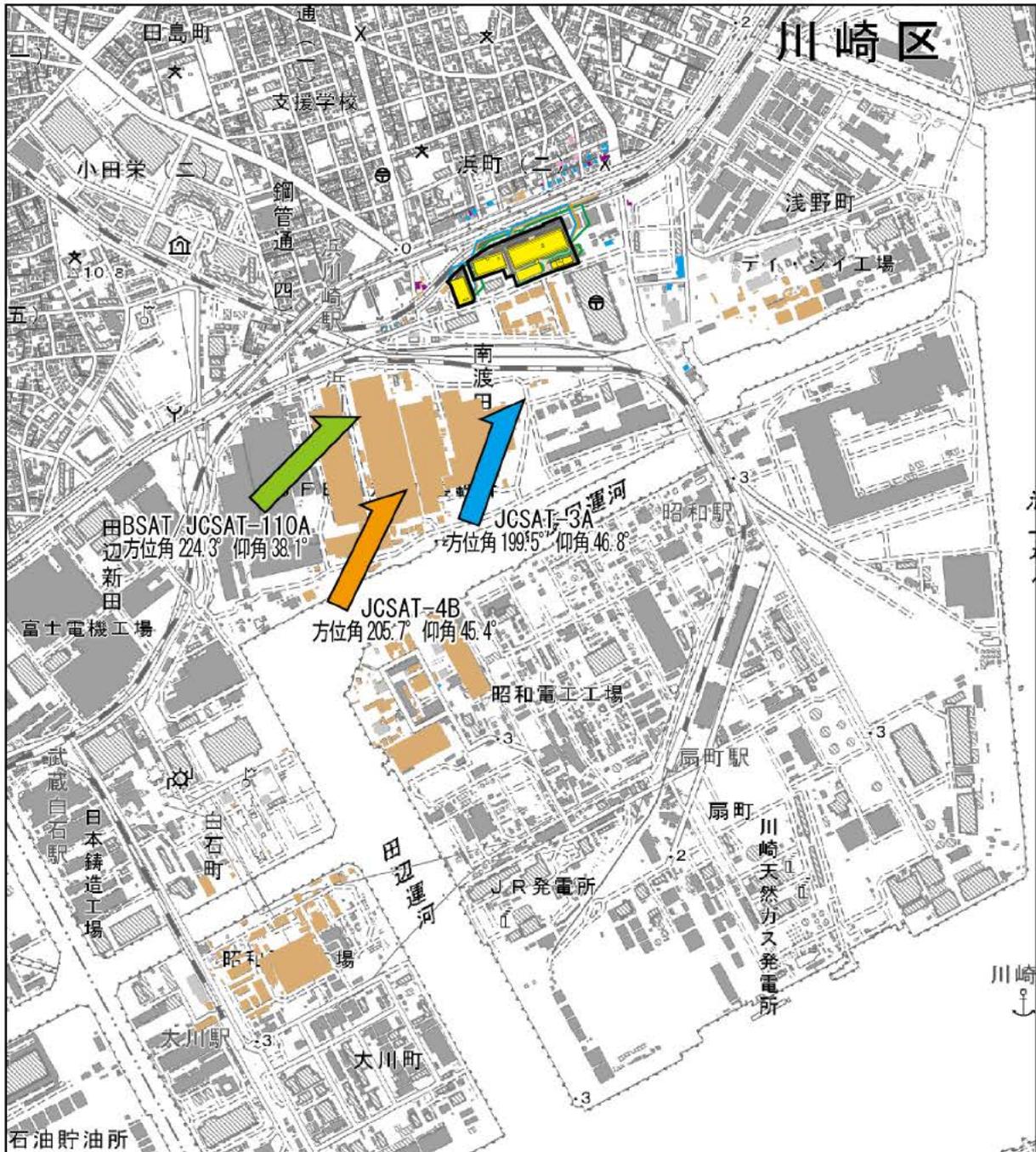
1 : 15,000



0 250 500 750m

注：本図は、国土地理院電子地形図 25000 を用いて作成したものである。

図 4.8.2-2(1) テレビ受信障害予測地域図（地上デジタル放送）



凡例

- |   |            |   |            |
|---|------------|---|------------|
|  | 計画地        |  | ケーブルテレビ加入者 |
|  | テレビ電波の到来方向 |  | 共同受信施設加入者  |
|  | 遮へい障害予測範囲  |  | 光ケーブル加入者   |
|  |            |  | 受信設備なし     |
|  |            |  | 受信形態不明     |



1:15,000

0 250 500 750m

注：本図は、国土地理院電子地形図 25000 を用いて作成したものである。

図 4.8.2-2(2) テレビ受信障害予測地域図 (衛星放送)

## ② 評価

本事業の実施における地上デジタル放送の遮へい障害範囲は、東京スカイツリーの広域局については、南南西方向（最大距離約 650m、最大幅約 270m）に遮へい障害が発生し、遮へい障害予測範囲内の建築物は 54 棟であり、ケーブルテレビ等に未加入で個別に受信を行っている 2 棟については、遮へい障害が生じる可能性があるとして予測した。

東京スカイツリーの県域局については、南南西方向（最大距離約 1,850m、最大幅約 270m）に遮へい障害が発生し、遮へい障害予測範囲内の建築物は 199 棟であり、ケーブルテレビ等に未加入で個別に受信を行っている 5 棟については、遮へい障害が生じる可能性があるとして予測した。

横浜局については、東南東方向（最大距離約 480m、最大幅約 180m）に遮へい障害が発生し、遮へい障害予測範囲内の建築物等 62 棟であり、そのうち 3 棟がケーブルテレビ等に加入し、ケーブルテレビ等に未加入で個別に受信を行っている 2 棟については、遮へい障害が生じる可能性があるとして予測する。

地上デジタル放送の反射障害については、地上デジタル放送の伝送方式が持つ特性等から、地域的な反射障害としてはほとんど生じないものと予測した。

衛星放送では、BS 放送及び CS 放送（JCSAT-110A）については東北東方向（最大距離約 60m、最大幅 230m）に遮へい障害が発生すると予測した。

CS 放送（JCSAT-3A 及び JCSAT-4B）については北東方向（最大距離約 30m、最大幅 230m）に遮へい障害が発生し、遮へい障害予測範囲内の建築物は 2 棟あるが、南渡田地区北地区の基盤整備により、現況の建築物は撤去される計画である。

本事業の実施においては、テレビ電波受信障害について、問い合わせ窓口の設置を周知し、受信障害が発生した時にはその原因を確認するなどの環境保全のための措置を講じる。

以上のことから、計画地周辺においては遮へい障害が生じる可能性はあるものの環境保全のための措置を講じることにより、良好な受信画質は維持され、かつ、現状を悪化しないものと評価する。

### 4.8.3 風害

環境影響評価の対象は、建築物等の存在による風環境への影響とする。

#### (1) 現況調査

##### ① 調査結果

##### a. 地域の風の状況

##### (a) 既存資料調査

大師測定局における2017～2022年度（2021年度は欠測が多いため除く）の5年間の風配図は図4.8.3-1に示すとおりである。北北西、北東、南、南南西、北西の風向の頻度が高くなっている。

また、風速出現頻度を図4.8.3-2に示す。平均風速は2.97m/sである。

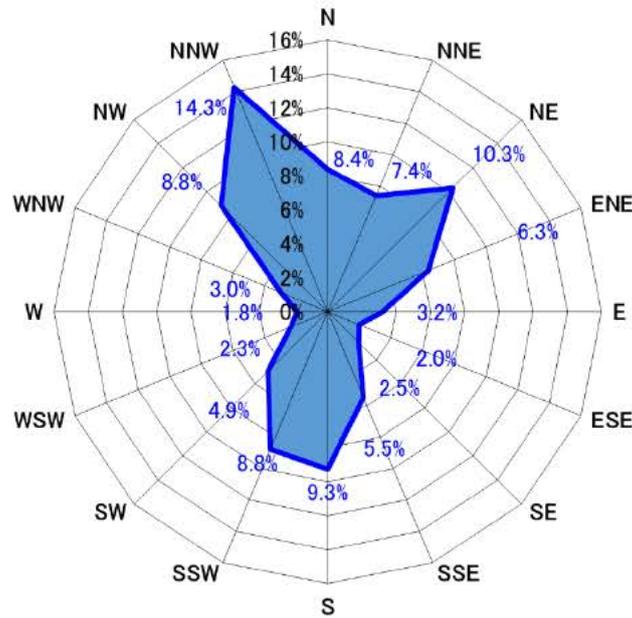


図4.8.3-1 風配図

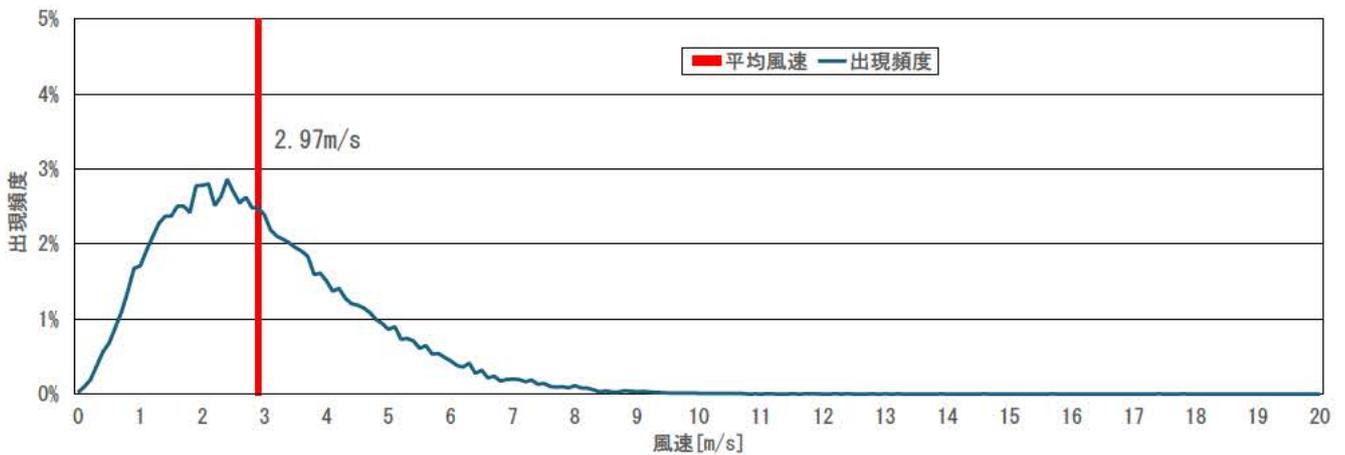


図4.8.3-2 風速出現頻度

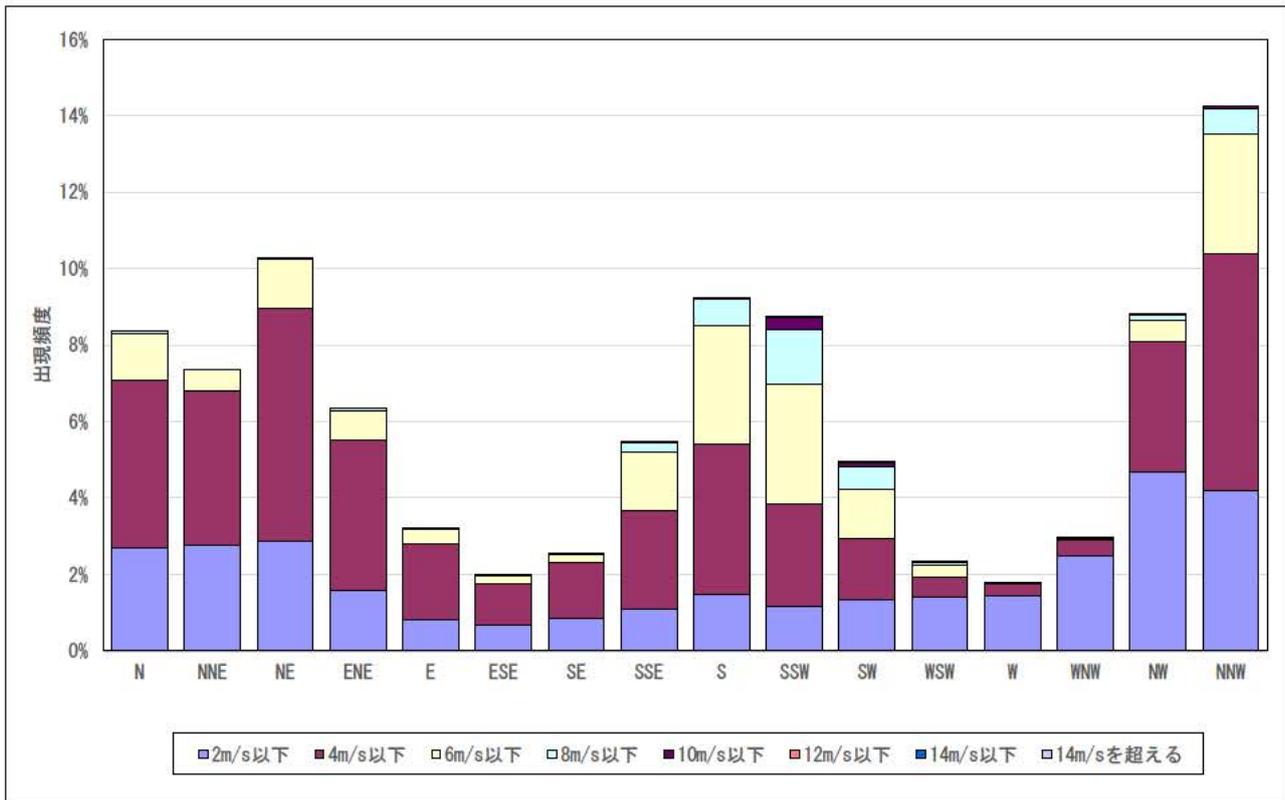


図 4.8.3-3 風向別風速別出現頻度 (大師測定局：2017～2022 年度、2021 年度除く 5 年間)

(b) 現地調査

ア. 風向・風速

風向・風速の現地の測定結果は、「4.2 大気」に示したとおりである。

b. 風の影響に特に配慮すべき周辺の施設の状況

風の影響に特に配慮すべき施設等は、図 4.8.3-4 に示すとおりである。

計画地周辺の福祉施設は北側約 100m に有料老人ホームぱんだが、教育施設は北西側約 300m に川崎市立臨港中学校が存在している。

診療所は北側約 200m に医療法人社団聖医会 安士医院が存在している。

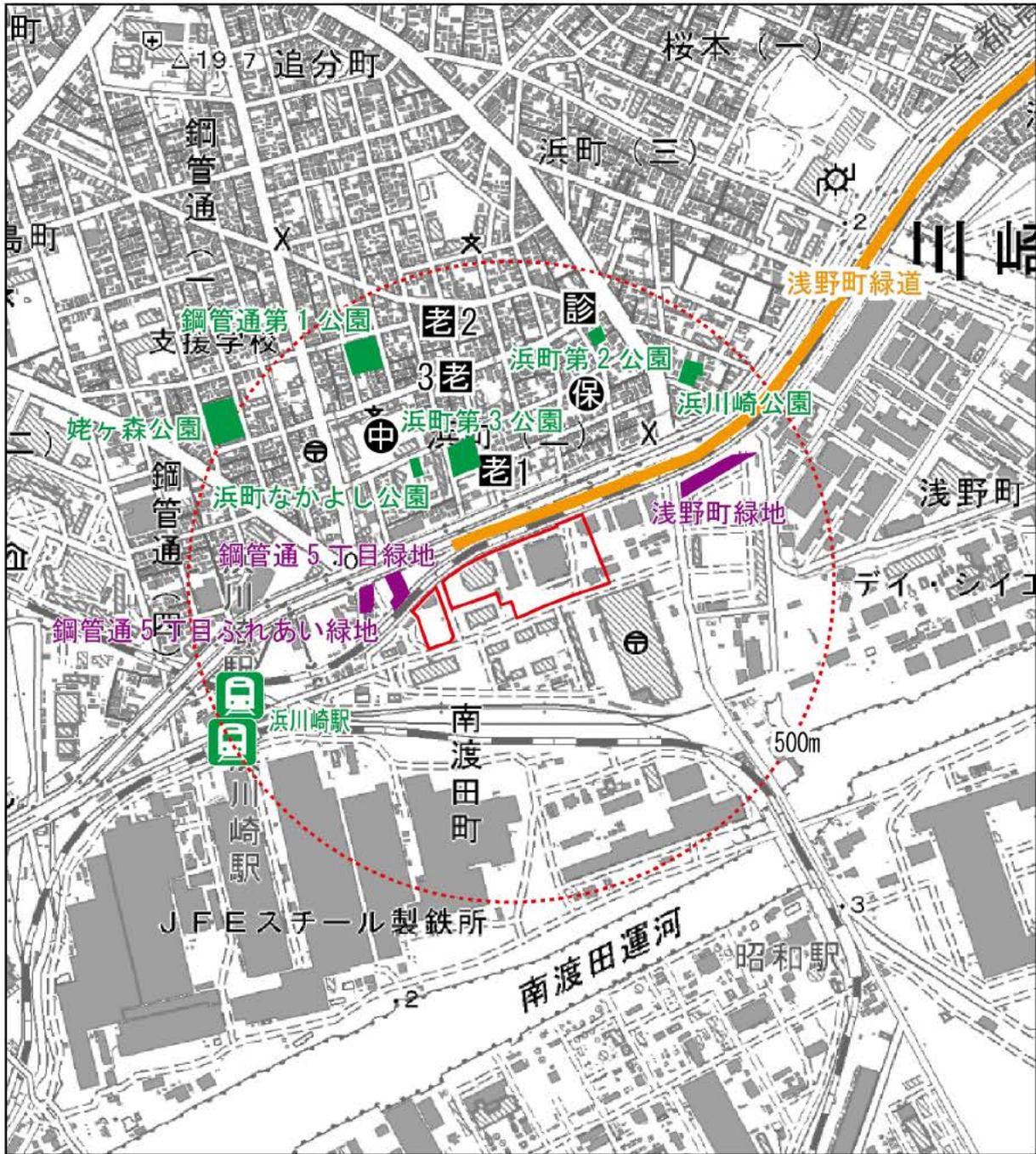
公園・緑地は、計画地の北西側約 20m に鋼管通 5 丁目緑地、北側約 130m に浜町第 3 公園が存在している。

計画地西側約 270m に浜川崎駅があり、乗降客が利用するプラットフォームがある。

また、計画地北側の住宅地域が挙げられる。

(2) 予測・評価

供用時において、風環境への影響が考えられるため、その影響の程度について予測及び評価を行う。

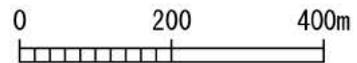


凡例

- 計画地
- あいせん保育園
- 川崎市立臨港中学校
- 1 有料老人ホーム ぱんだ
- 2 有料老人ホーム ファミリエ浜町
- 3 有料老人ホーム ほほえみの家浜町
- 診療所 医療法人社団聖医会 安士医院
- 街区公園
- 緑道
- 都市緑地



1:10,000



注：本図は、国土地理院電子地形図 25000 を用いて作成したものである。

図 4.8.3-4 風の影響に特に配慮すべき施設等

① 予測

a. 予測結果

建設前（更地）、建設後（対策前、対策後）の村上方式の風評価結果を表 4.8.3-1 及び図 4.8.3-5 に示す。

また、風向頻度の高い北北西、北東、南、南南西、北西の解析結果図を図 4.8.3-6～10 に示す。

建設後は、北側の住居地域では計画建築物による影響はほとんどないと予測する。

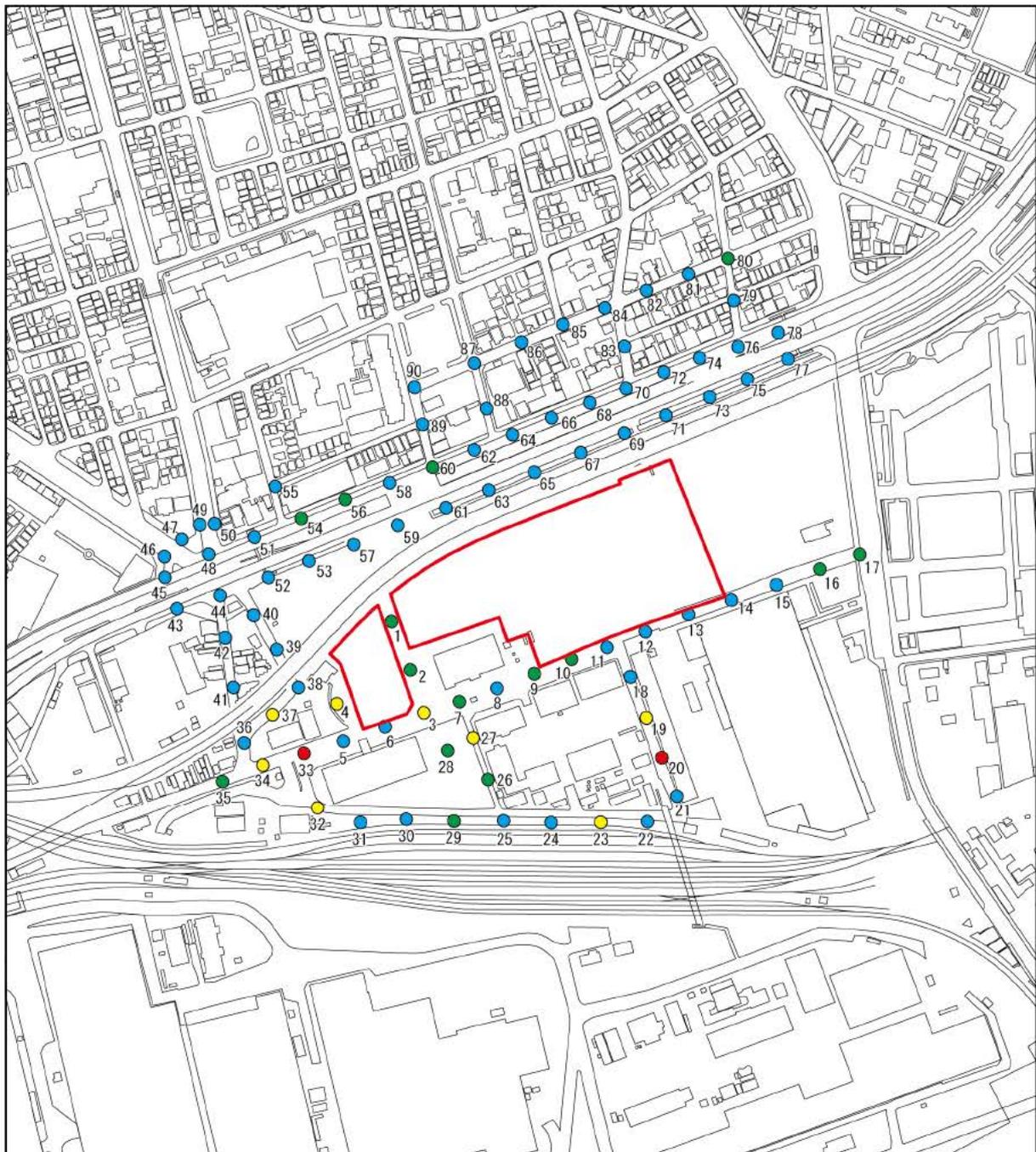
計画地南側は建設前からランク 3 及び 4 が比較的多くみられるが、建設後（対策前、対策後）も同様の傾向であると予測する。また、建設後（対策後）は計画地南東側の東西道路でランク 4 が生じると予測する。

建設後（対策後）は大景木及び高木を防風植栽として予測したが、図 4.8.3-11 に示すとおり、防風植栽によりランクが改善した地点付近及びランク 4 が出現する地点付近に常緑樹を配置することとする。

表 4.8.3-1 建設前（更地）、建設後（対策前、対策後）の予測結果

評価点	建設前 (更地)	建設後		評価点	建設前 (更地)	建設後		評価点	建設前 (更地)	建設後	
		対策前	対策後			対策前	対策後			対策前	対策後
1	2	3	2	31	1	1	1	61	1	2	2
2	2	2	1	32	3	2	2	62	1	2	2
3	3	3	3	33	4	3	3	63	1	2	2
4	3	1	1	34	3	1	1	64	1	2	2
5	1	2	2	35	2	1	1	65	1	2	2
6	1	1	1	36	1	1	1	66	1	1	1
7	2	4	4	37	3	1	1	67	1	1	1
8	1	1	1	38	1	2	2	68	1	1	1
9	2	1	1	39	1	1	1	69	1	2	1
10	2	1	1	40	1	1	1	70	1	1	1
11	1	2	1	41	1	1	1	71	1	1	1
12	1	4	4	42	1	1	1	72	1	1	1
13	1	4	4	43	1	1	1	73	1	1	1
14	1	4	3	44	1	1	1	74	1	1	1
15	1	3	3	45	1	1	1	75	1	1	1
16	2	1	1	46	1	1	1	76	1	1	1
17	2	2	2	47	1	1	1	77	1	1	1
18	1	1	1	48	1	1	1	78	1	1	1
19	3	2	2	49	1	1	1	79	1	1	1
20	4	3	3	50	1	1	1	80	2	2	2
21	1	1	1	51	1	1	1	81	1	1	1
22	1	1	1	52	1	1	1	82	1	1	1
23	3	3	3	53	1	2	2	83	1	1	1
24	1	1	1	54	2	2	2	84	1	1	1
25	1	1	1	55	1	1	1	85	1	1	1
26	2	1	1	56	2	2	2	86	1	1	1
27	3	4	4	57	1	3	3	87	1	1	1
28	2	2	2	58	1	3	3	88	1	1	1
29	2	2	1	59	1	2	2	89	1	1	1
30	1	1	1	60	2	3	2	90	1	1	1

ランク	強風による 影響の程度	対応する 空間用途の例	
1	最も影響を受けやすい用途の場所	住宅地の 商店街	野外レス トラン
2	影響を受けやすい 用途の場所	住宅街	公園
3	比較的影響を受け にくい用途の場所	事務所街	
4	ランク 3 の条件を満たさない領域		



凡例

計画地

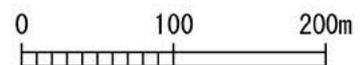
風環境評価

- ランク 1
- ランク 2
- ランク 3
- ランク 4

ランク	強風による影響の程度	対応する空間用途の例	
1	最も影響を受けやすい用途の場所	住宅地の商店街	野外レストラン
2	影響を受けやすい用途の場所	住宅街	公園
3	比較的影響を受けにくい用途の場所	事務所街	
4	ランク 3 の条件を満たさない領域		

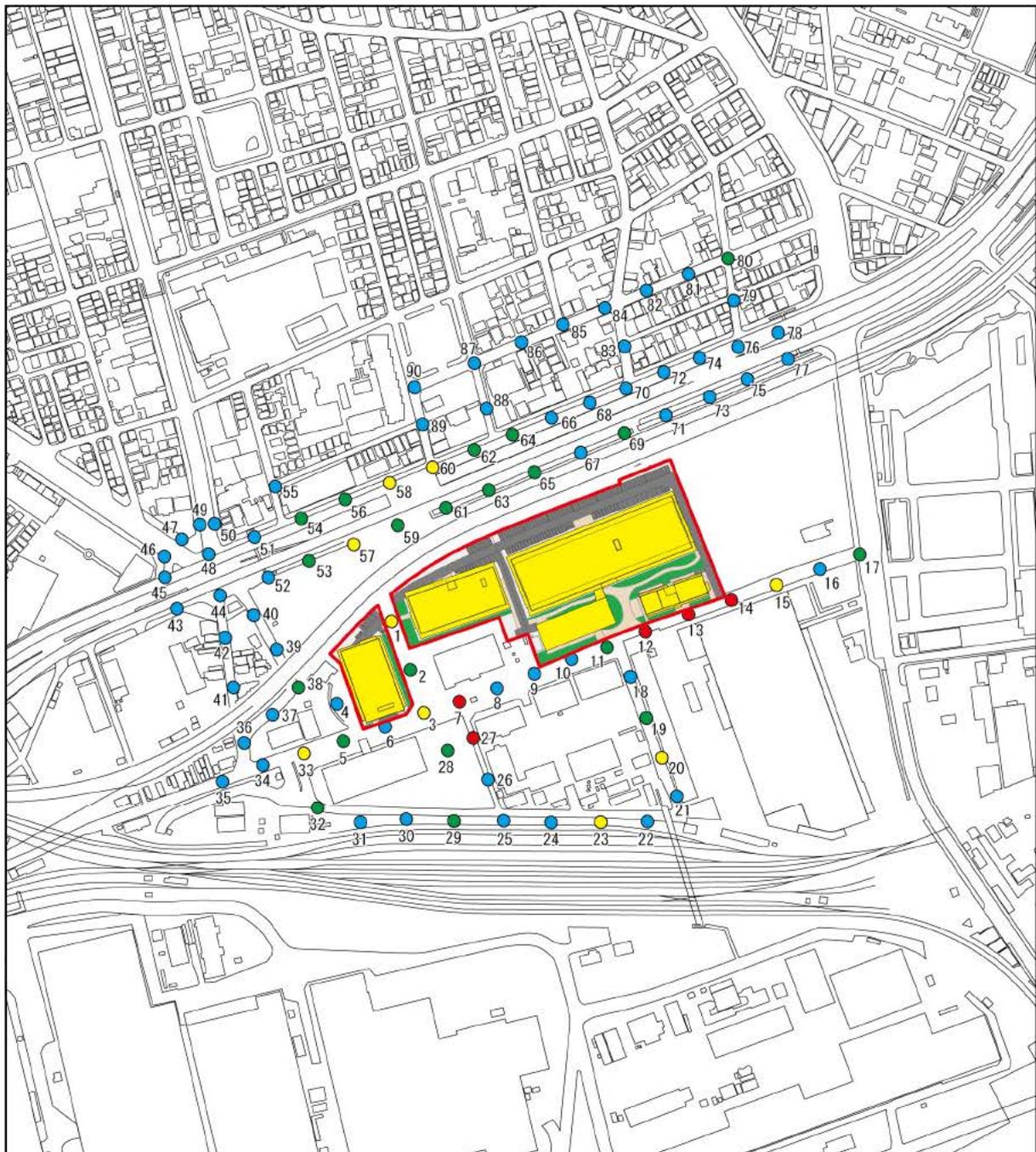


1:5,000



注：本図は、VectorMapMaker を用いて作成したものである。

図 4.8.3-5(1) 建設前の村上方式の風評価結果（建設前：更地）



凡例

計画地

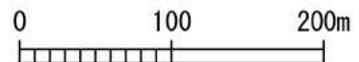
風環境評価

- ランク 1
- ランク 2
- ランク 3
- ランク 4

ランク	強風による影響の程度	対応する空間用途の例	
1	最も影響を受けやすい用途の場所	住宅地の商店街	野外レストラン
2	影響を受けやすい用途の場所	住宅街	公園
3	比較的影響を受けにくい用途の場所	事務所街	
4	ランク 3 の条件を満たさない領域		

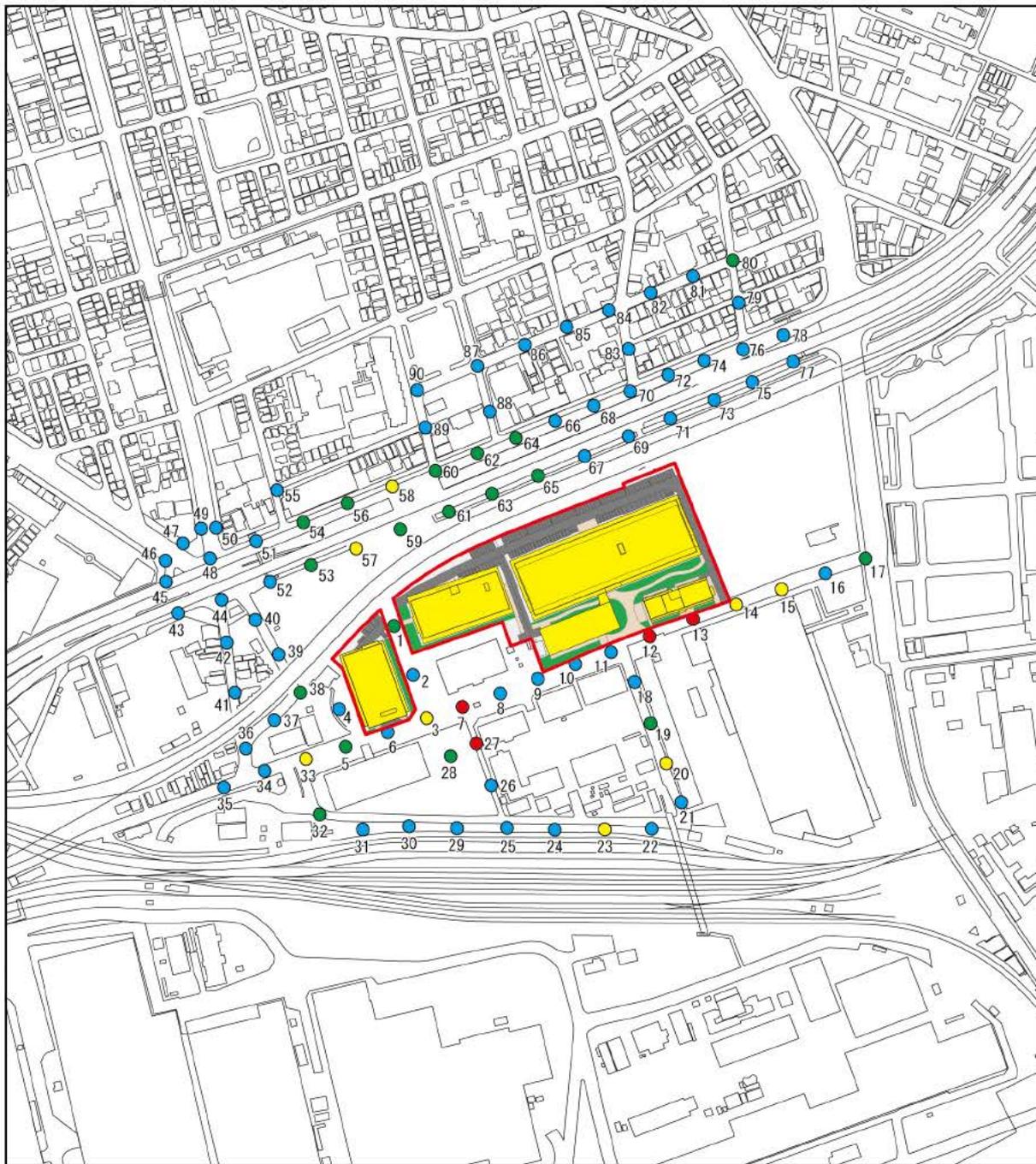


1:5,000



注：本図は、VectorMapMaker を用いて作成したものである。

図 4.8.3-5(2) 建設後の村上方式の風評価結果（建設後：対策前）



凡例

計画地

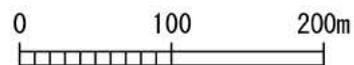
風環境評価

- ランク 1
- ランク 2
- ランク 3
- ランク 4

ランク	強風による影響の程度	対応する空間用途の例
1	最も影響を受けやすい用途の場所	住宅地の商店街 野外レストラン
2	影響を受けやすい用途の場所	住宅街 公園
3	比較的影響を受けにくい用途の場所	事務所街
4	ランク 3 の条件を満たさない領域	



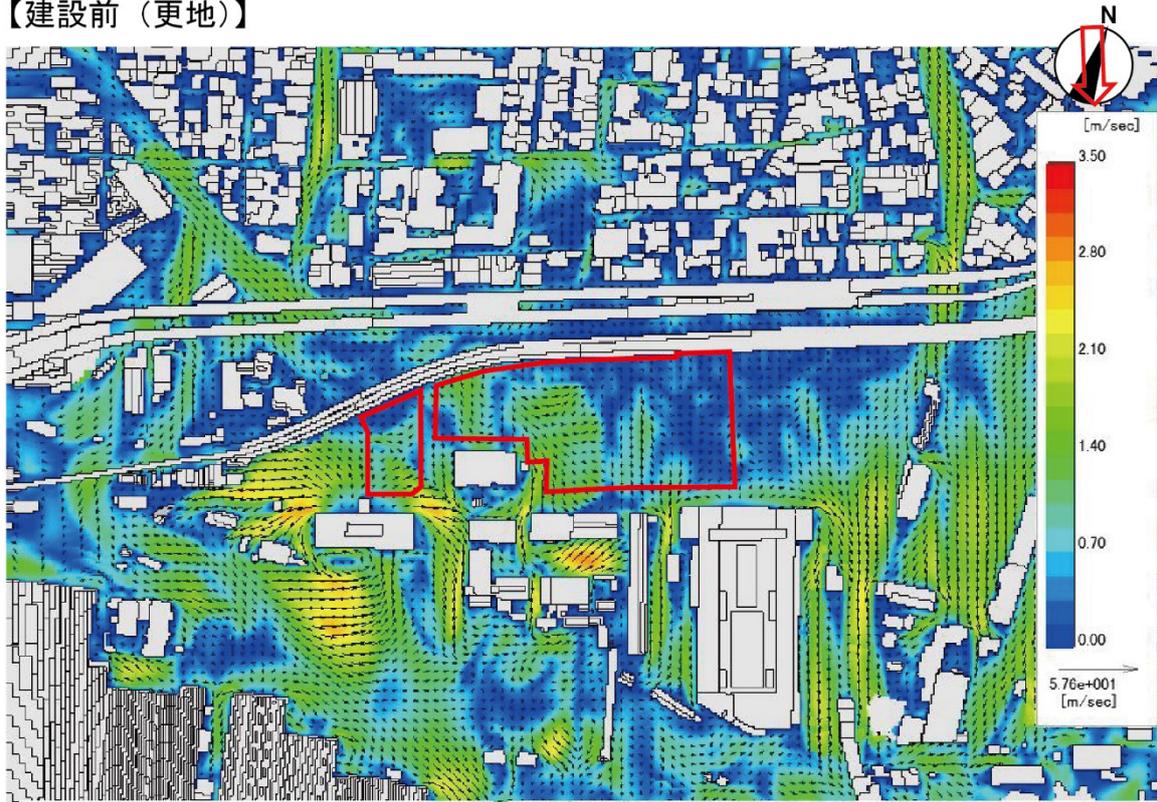
1:5,000



注：本図は、VectorMapMaker を用いて作成したものである。

図 4.8.3-5(3) 建設後の村上方式の風評価結果（建設後：対策後）

【建設前（更地）】



【建設後（対策前）】

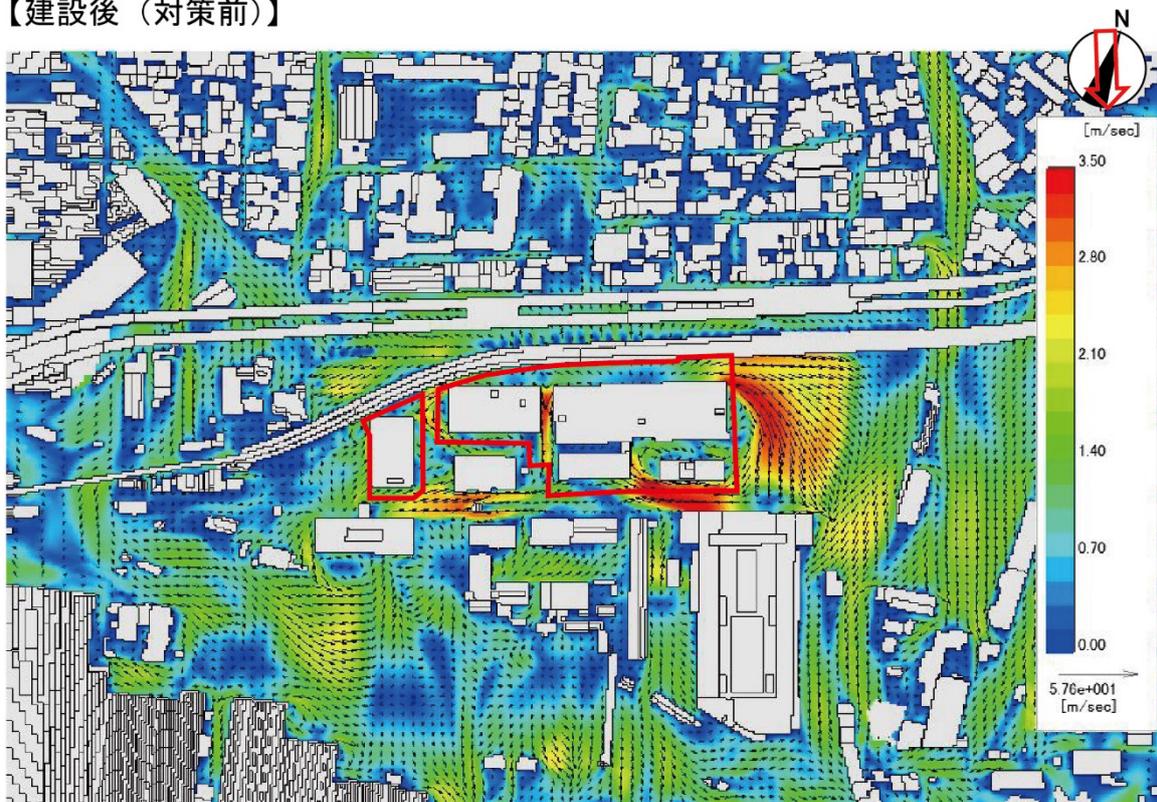


図 4.8.3-6(1) 解析結果図（北北西）

【建設後（対策後）】

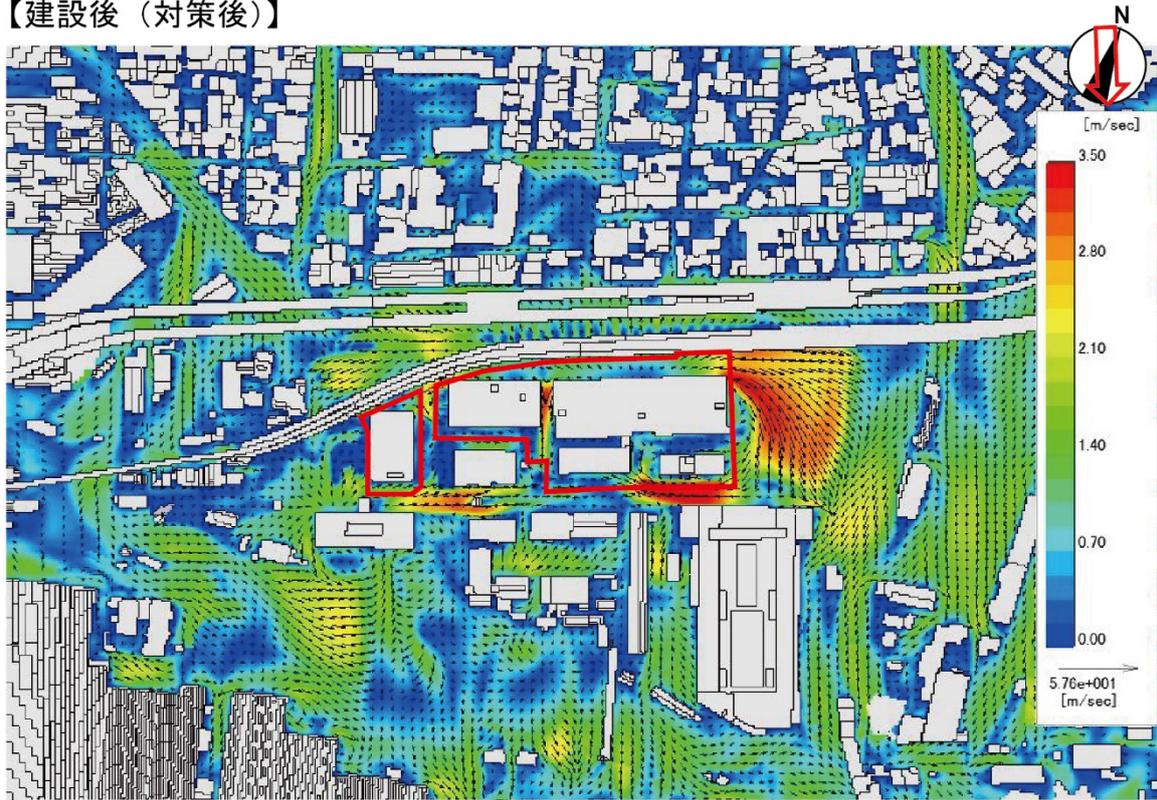
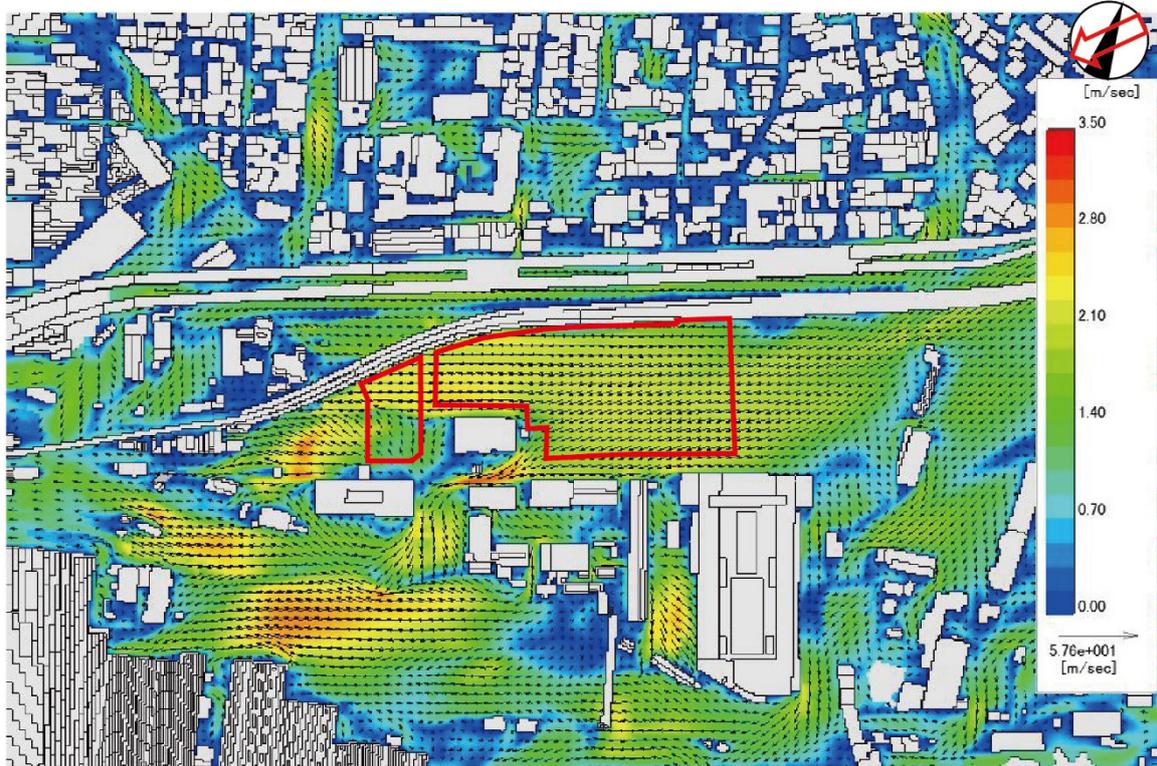


図 4.8.3-6(2) 解析結果図（北北西）

【建設前（更地）】



【建設後（対策前）】

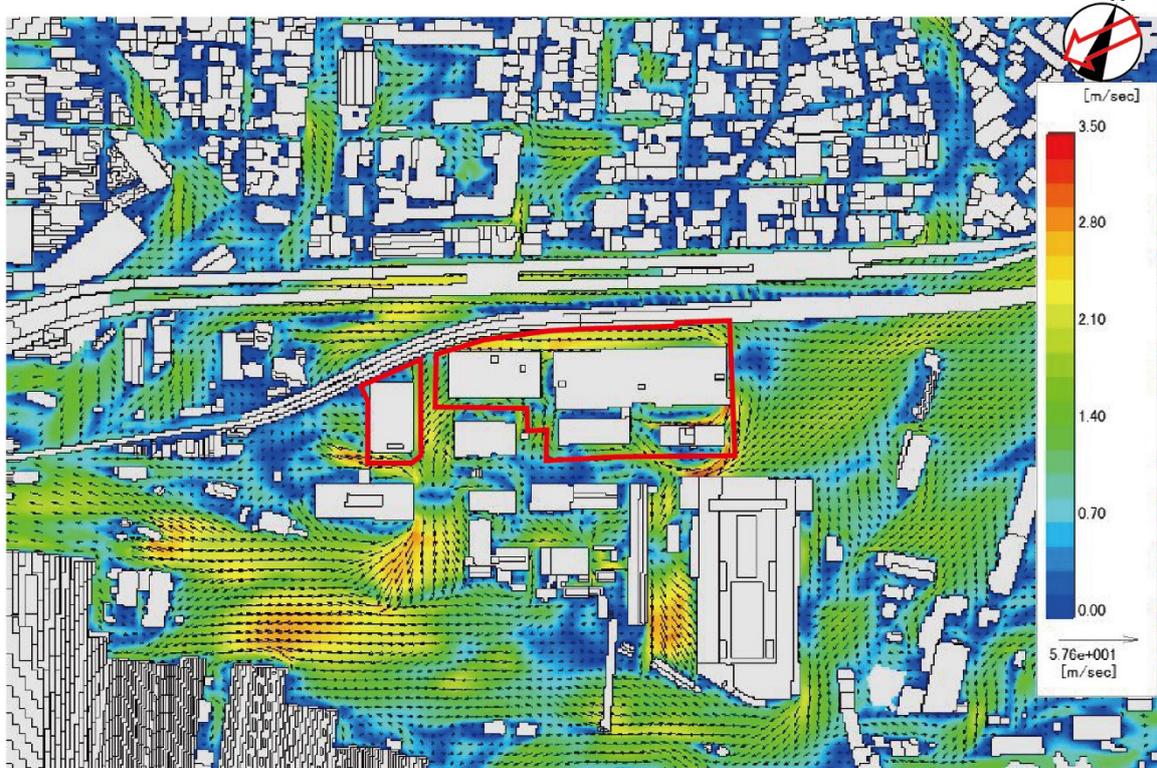


図 4.8.3-7(1) 解析結果図（北東）

【建設後（対策後）】

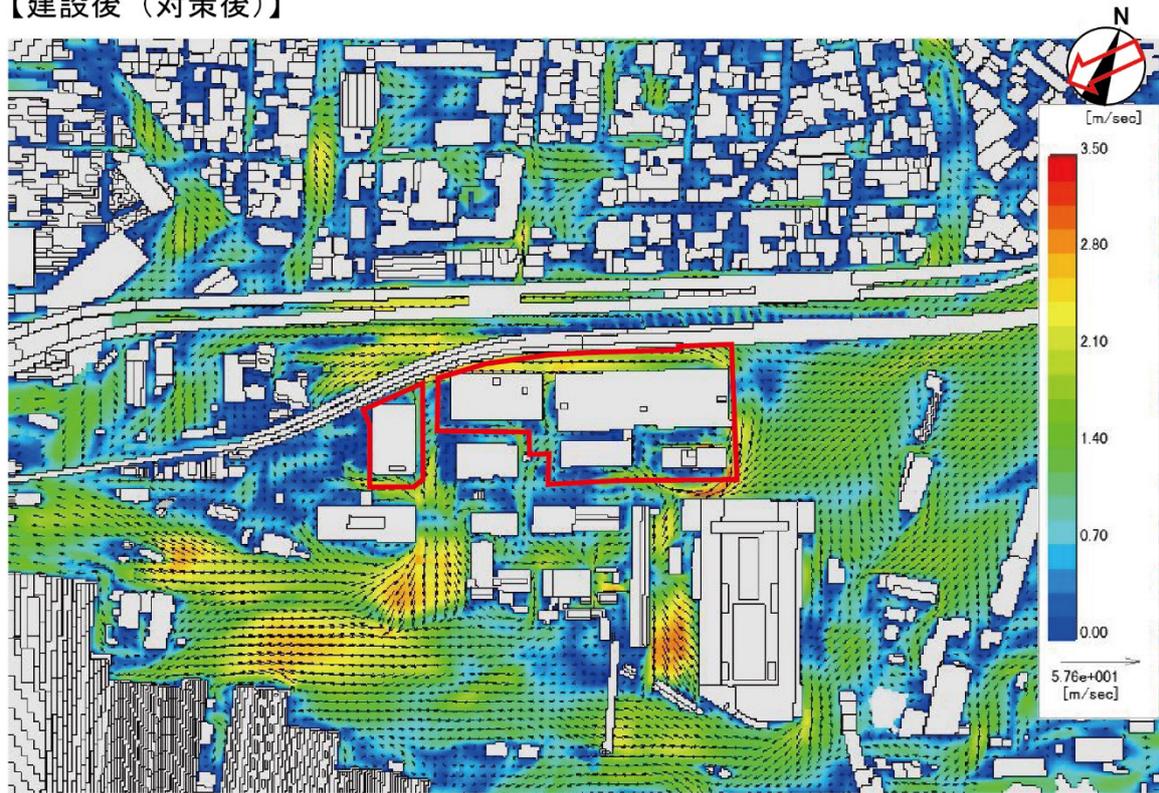


図 4.8.3-7(2) 解析結果図（北東）